



皆様には、平素より私ども広島商銀をご愛顧、お引き立ていただき、厚く御礼申し上げます。  
皆様に当組合の経営方針・最近の業績などの現況をご理解いただけるように、本冊子を作成いたしました。ご高覧いただければ幸いに存じます。

さて、平成22年度の経済環境は、穏やかに回復の兆しを見せておりましたが、去る3月11日発生した東日本大震災は甚大な被害となり、更に福島第一原子力発電所の被災は深刻な放射性物質漏れを起こし、サプライチェーンにとどまらず、国内の電力問題にもなっております。

このような環境下、金融行政においては、「包括的な金融緩和政策」の下で積極的な金融緩和策を実施するとともに、「成長基盤強化を支援するための資金供給」といった施策を導入される中、中小企業金融円滑化法の1年間延長、改正貸金業法の完全施行などを踏まえて、制度の周知徹底や、これら利用者への支援等の取り組みが求められました。

こうした中、当組合は「絆もっと広く、もっと強く」をキャッチフレーズに掲げて、①経営基盤の強化、②収益力の強化、③中小企業金融円滑化への積極的な取り組み、④組織体制の再構築を重点課題として取り組んで参りました。

又、当組合は、おかげさまで本年11月に「創立50周年」を迎えますが、昭和36年の創立以来、地域社会の発展とともに歩み続けることができましたのも、ひとえに皆様の温かいご理解、ご支援の賜物と、厚く感謝申し上げます。

今後も、地域の皆様との絆をより深めながら、社会的責任を発揮して、健全経営、法令等遵守（コンプライアンス）の一層の充実を図り、皆様からの信頼を揺るぎないものとするよう努めて参る所存です。

なにとぞ、一層のご愛顧を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成23年7月

信用組合 広島商銀

理事長 華山 義夫